

# 防災緑地の整備に 町民の意見を反映！



平成 25 年 10 月 15 日発行 / 福島県富岡土木事務所

## 第1回ワークショップを開催

今年度から、県が整備する防災緑地に町民の意見を反映させるため、町民や、福島工業高等専門学校といわき明星大学の学生・先生が参加し、平成25年10月6日（日）、広野町中央公民館にて第1回のワークショップを開催しました。

## 第1回の内容

### 現地見学

参加者全員で防災緑地ができる現地を見学しました。現地では富岡土木事務所の職員が、長いポールを用いて防災緑地の大きさやイメージを説明しました。

### グループワーク

「防災緑地をイメージしてみる」をテーマに、グループごとに意見交換し、成果を発表しました。

## 今後の予定

10月6日 第1回ワークショップ **済**

11月17日 第2回ワークショップ  
「防災緑地のプランを考える」  
前回のアイデアを元に、具体的な施設の配置を考えていきます。

12月上旬 第3回ワークショップ  
「防災緑地をみんなの森にする」  
緑地に植える植物の種類や植える場所、緑地の今後の利用への関わり方等を考えていきます。

1月中旬 第4回ワークショップ  
「成果のまとめとふりかえり」  
これまでの検討案を集約し、内容の確認をします。



防災緑地の全体模型



学生のみなさんも熱心に現地を見学しました



活発な意見交換が行われました

## こんな意見ができました！！

**Aグループ** 「田舎を楽しむ」「祭りを復活」「奥州日の出の松やツバキ林を復活」等をキーワードに広野町のもつ昔ながらの伝統や植栽などを防災緑地が引き継ぎ、町の活性化につなげていくことを提案しました。

**Bグループ** 自由な発想で防災緑地の活用を検討しました。「広野の長城」「展望広場」「緑地園路を通学路として利用」等防災緑地を積極的に活用する意見や、「ガラス張りの海岸堤防」等海とのつながりを保つためのアイデアができました。

**Cグループ** 多様な分野で防災緑地の利用を考えました。「BBQ広場」「天体観察」として活用したり、「太陽光&風力発電」などエコ利用、「花火大会」「ステージ」の設置などイベント利用、「森の育て方教室」など維持管理への意見もありました。

## 廣瀬先生、木田先生の講評

廣瀬先生



防災緑地を考える上で、緑地部分だけではなく、県道も一体的に考えていったらどうかと思います。一般的には海側の斜面に木を植えれば、海からの風を散らし、潮や砂から住まいを守る働きをします。さらに内陸の木がより育ちやすくなります。

次回は写真など資料を持参しますので、防災緑地とその周辺をあわせて検討していければと思います。

木田先生



非常に前向きな意見が多く、夢を語る人が多かったことが大変印象的でした。その中でも今から管理体制をつくる必要があると感じました。植物というのは植えて完成、植えてお終いではなく、植えたところからスタートです。

どんな木をどんな形で、将来どう活用していくか、広野町の一部として感じる緑地づくりをこのワークショップを通じてつくれたらと思います。

## 第2回ワークショップのご案内

第2回ワークショップ 11月17日(日) 13時半～16時 於 広野町中央公民館

## テーマ「防災緑地のプランを考える」

次回は、廣瀬先生の講話、木田先生の講話をうかがってから、第1回で出たアイデアを形にしていきます。

### 参加者募集

興味のある方大歓迎です！ぜひご連絡下さい。第2回からでも参加できます。傍聴だけでも大歓迎です。防災緑地はみなさんの森になります。

### ご意見募集

「こんな海辺の緑地にしたい！」

ワークショップには参加できないけれど、緑地づくりについてご意見、このかわら版を見てのご感想などなんでも結構です。みなさんのご意見をお待ちしております。

ご連絡は下記の問い合わせ先までお願いします

## お問い合わせ先

福島県富岡土木事務所 担当：大野

〒979-0403双葉郡広野町大字下浅見川字広長120番1

電話番号：0240 (23) 6605 / ファックス：0240 (27) 6609

メール：oono\_norihito\_01@pref.fukushima.lg.jp

